

1. 評価結果概要表

作成日 平成20年3月25日

【評価実施概要】

事業所番号	2073400661		
法人名	医療法人 齋美会		
事業所名	グル-プホ-ム すめらぎ		
所在地	長野県上水内郡中条村大字住良木9060 (電話)026-267-3313		
評価機関名	特定非営利活動法人 環境・福祉事業評価センター 長野県長野市南高田2-5-16		
訪問調査日	平成20年3月4日	評価確定日	平成20年3月28日

【情報提供票より】(20年 5月16日事業所記入)

(1) 組織概要

開設年月日	平成 17年 5月 16日		
ユニット数	2 ユニット	利用定員数計	18 人
職員数	18 人	常勤14人, 非常勤 4人, 常勤換算	16.3人

(2) 建物概要

建物構造	鉄骨	造り
	1階建ての	~ 1階部分

(3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	45,000 円	その他の経費(月額)	15,000 円
敷金	有() 円) 無		
保証金の有無 (入居一時金含む)	有() 円) 無	有りの場合 償却の有無	有 / 無
食材料費	朝食	円	昼食 円
	夕食	円	おやつ 円
	または1日当たり 1,240 円		

(4) 利用者の概要(2月20日現在)

利用者人数	18名	男性	6名	女性	12名	
要介護1	9名	要介護2	4名			
要介護3	4名	要介護4	1名			
要介護5			要支援2			
年齢	平均	86.5歳	最低	77歳	最高	96歳

(5) 協力医療機関

協力医療機関名	更生連新町病院、斉藤歯科小児科医院
---------	-------------------

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

事業所は長野市からオリンピック道路で大町・白馬方面に向う中条村の道の駅に近くの交通の便利な、豊かな自然に囲まれた環境の中に位置している。生活の場となる二つの円形建物と中央の管理棟部分で構成され機能的で新しく、自然採光に工夫されている。また居住部分は全室個室になっている。隣に同じ法人が運営する介護老人保健施設があり、活発な交流が行われている。経験豊富で知識も豊富な職員が配置されており利用者に安心と信頼感を与えている。安心して暮らせる場所作り「利用者主体」「人権尊重」「自立支援」を基本理念とし、地域に開かれた運営と質の高いサービスを追求することを運営方針としており、課題解決に継続的に前向きに取り組んでいる。

【重点項目への取組状況】

重点項目	前回評価での主な改善課題とその後の取組、改善状況(関連項目:外部4) 前回の評価での要改善事項はなかった。自主的な取組みとして、玄関正面に掲示されている理念を大きく表示することや利用者や家族などからの意見、苦情を聞くためのご意見箱を設置するなどの改善が図られている。
	今回の自己評価に対する取組み状況(関連項目:外部4) 昨年より自己評価方法が変更になったが、管理者、職員は新しい自己評価の意義を自覚して取り組んでいる。また、自己評価の結果、新年度の取り組んでいきたい内容を明確にし、事業計画に反映しようとしている。
重点項目	運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取組み(関連項目:外部4,5,6) 運営推進会議は2ヶ月に一度開催されている。主な討議内容は行事予定や入所者の待機状況について話し合われている。また、年度の事業計画や外部評価の結果について報告されている。また事故報告(ヒヤリハット)などの事例が適切に報告され職員に周知されている。リスクマネジメントとしての災害時の対応、感染予防、ノロウィルス対策などが討議され手順書等が整備されている。
	家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7,8) ホ-ムベ-ジやご意見箱により意見や苦情を聞く仕組みがある。また、会報の「うめだより」による家族に利用者の最近の様子を伝えている。家族が訪ねた時は、利用者の要望を個別に聞いている。
重点項目	日常生活における地域との連携(関連項目:外部3) 地域の一員として、地域住民と防災協定を結んでいる。道の駅でのバザ-や中条村のふれあい祭りに参加している。また、併設の施設と合同で、敬老祭、夏祭りや地域のイベントに参加している。自己評価の結果、介護教室や村の広報、診療所の掲示板に事業所の情報を流すことなどにより地域との交流をさらに積極的に取組もうとしている。

特定非営利活動法人 環境・福祉事業評価センター

2. 評価結果（詳細）

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
理念に基づく運営					
1. 理念と共有					
1	1	地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	グループホームにおける地域密着型サービスの意義を職員で共有し、地域生活の継続支援と事業所と地域の関係強化する理念をつくりあげている。		
2	2	理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	理念は管理棟玄関の正面等に掲示されている。また、毎月のミーティング会議で周知し具体的なケアについて意見の統一を図っている。		
2. 地域との支えあい					
3	5	地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	地域のイベントやお祭り等には利用者とともに積極的に参加している。地区の小学生等が遊びに来てくれることや住民がボランティア活動に来てくれるなどの交流については改善に取り組んでいる。		地域のイベントやお祭り等には利用者とともに積極的に参加している。地区の小学生等が遊びに来てくれることや住民がボランティア活動に来てくれるなどの双方向の交流がさらに深まり地域で必要な活動や役割を担っていくことを期待したい。
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
4	7	評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	サービス評価の意義や目的を職員に伝え、自己評価に取り組もうとしている。また、外部評価の結果は運営推進会議で検討され改善に取り組んでいる。改善を次期事業計画に反映させるなど具体的な検討や実践につなげるための努力をしている。		

グループホームすめらぎ

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
5	8	<p>運営推進会議を活かした取り組み</p> <p>運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている</p>	<p>外部評価の結果について報告され意見をもらうようにしている。また、リスク管理や懸案事項について、その経過を報告し、改善につなげている。</p>		
6	9	<p>市町村との連携</p> <p>事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる</p>	<p>運営推進会議に2名参加している。運営上の不明な点についてはその都度役場に行き相談を受けることによりサービスの向上を図っている。</p>		
4. 理念を実践するための体制					
7	14	<p>家族等への報告</p> <p>事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている</p>	<p>職員の異動等については文書で報告している。また、個別に体調変化等については電話で家族に連絡をしている。また、「うめだより」により暮らしぶりを報告している。金銭管理については預かり金の出納の記録と領収書を毎月送っている。</p>		
8	15	<p>運営に関する家族等意見の反映</p> <p>家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<p>ご意見箱を設置したり、家族には面会時に意見を伺い何でも言ってもらえるような雰囲気づくりに留意している。重要な事項は管理が対応し、ミーティングで話し合い意見や要望が反映されている。</p>		
9	18	<p>職員の異動等による影響への配慮</p> <p>運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている</p>	<p>利用者、ご家族への信頼関係を築くために、馴染みの職員が対応するように心がけている。異動や離職が止むを得ない場合も、新規の職員が対応できるようベテラン職員と二人体制で行うなど引継ぎの最善の努力をしている。基本的に各ユニットの職員を固定化し、顔馴染みの職員のケアに心がけている。</p>		

グループホームすめらぎ

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
5. 人材の育成と支援					
10	19	<p>職員を育てる取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>年1回の外部研修の受講ができる仕組みがあり、研修報告書によりミ・ティング時に話し合われている。また、併設の介護老人保健施設で実施している研修に参加している。</p>		<p>外部研修の受講が自由にできる機会があり、良い仕組みとして機能している。更に、職員各自の段階的・計画的な育成のために年間計画等の中に位置付け計画的な運営をすることを期待したい。</p>
11	20	<p>同業者との交流を通じた向上</p> <p>運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	<p>善光寺平グループホームねっとに参加し情報交換することにより、事業所外の意見や経験をケアに活かしている。</p>		
.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
12	26	<p>馴染みながらのサービス利用</p> <p>本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している</p>	<p>前回の外部評価以降新規の利用実績はないが、本人や家族が事業所を見学してもらい、スタッフが自宅に出向いたりすることを繰り返しながら事業所の生活が安定することを見極めて利用に移行している。</p>		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
13	27	<p>本人と共に過ごし支えあう関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている</p>	<p>本人の思いや苦しみ、不安、喜び、得意なことを知るように努め、暮らしの中で分かち合い、共に支える関係作りに留意している。</p>		

グループホームすめらぎ

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
1. 一人ひとりの把握					
14	33	<p>思いや意向の把握</p> <p>一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している</p>	<p>食事の時の声かけ等日々の関わりの中で把握に努めている。また、面接時に本人や家族からの意向を把握するよう情報の収集に努めている。</p>		
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
15	36	<p>チームでつくる利用者本位の介護計画</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している</p>	<p>ご本人やご家族には日頃の関わりの中で、思いや意見を聞き、反映させている。プランの作成時からアセスメントを含め職員で意見交換やモニタリング、カンファレンスを行っている。状況に応じ介護老人保健施設の看護師、リハビリ担当、栄養士とのコミュニケーションを図っている。</p>		
16	37	<p>現状に即した介護計画の見直し</p> <p>介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している</p>	<p>職員が情報を確認し、ご家族やご本人の要望を取り入れつつ、3ヶ月毎に見直しを行っているが、緊急時等の場合は、状況に応じ、ご家族やご本人の要望に応じて見直しを行っている。</p>		
3. 多機能性を活かした柔軟な支援					
17	39	<p>事業所の多機能性を活かした支援</p> <p>本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている</p>	<p>緊急時で家族の対応が困難な場合の医療機関での受診や役場等の相談の支援を行っている。併設の介護老人保健施設のリハビリ担当者、栄養士の指導を受け、馴染みの生活ができるよう支援している。</p>		

グループホームすめらぎ

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働					
18	43	<p>かかりつけ医の受診支援</p> <p>本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している</p>	<p>本人や家族が希望するかかりつけ医になっている。また、受診や通院はご家族の希望に応じて対応している。基本的には家族同行の受診となっているが、緊急時等で不可能な時は職員が代行している。事業所の協力医、家族、事業所との連絡は良く取れている。</p>		
19	47	<p>重度化や終末期に向けた方針の共有</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している</p>	<p>重度化した場合における意思確認書を作成し、事業所が対応し得るケアについて説明を実施し、家族・医師と話し合い、方針を共有している。終末期の対応については方針を検討し共有化しつつあり改善に取り組んでいる。</p>		<p>重度化した場合における意思確認書を作成し、ご本人やご家族の意向を確認している。見直しについては定期的に家族・医師と話し合い、更に終末期の対応についてもご本人やご家族の意向を確認し共有化することを期待したい。</p>
. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
1. その人らしい暮らしの支援					
(1) 一人ひとりの尊重					
20	50	<p>プライバシーの確保の徹底</p> <p>一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない</p>	<p>ミーティング時に職員と十分に話し合い、利用者のプライバシーを傷つけないよう対応の徹底を図っている。個人記録の管理方法について改善して取り組んでいる。</p>		<p>個人記録は識別され作成されている。更に記録の管理方法については規定等で手順を決めて運用することを期待したい。</p>
21	52	<p>日々のその人らしい暮らし</p> <p>職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している</p>	<p>標準的な1日の流れは持っているが、時間を区切った過ごし方はしていない。入浴時間は利用者の希望を優先している。散歩や畑作業など一人ひとりの状態や思いに配慮しながら柔軟に対応している。</p>		

グループホームすめらぎ

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
22	54	食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	食べたいもののアンケートによりメニューを決めている。また、調理、盛り付け、片付け等は利用者と共にし、利用者と職員は同じテーブルを囲んで楽しく家族の雰囲気の中で食事ができるようにしている。前の畑で作った野菜を使った料理も大切な活動としている。		
23	57	入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めず、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	入浴したい日、希望する時間に入浴していただいている。また入浴担当者が誘導から全てを行い一人ひとりの入浴スタイルに合わせてゆっくり関わり、楽しめるよう支援している。		
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
24	59	役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	おぶっこ作りやホム内の花、盆栽の管理、食器洗い、洗濯干しなど利用者の経験や知恵を発揮する場面を作っている。遠出の外出や地域の行事等の楽しみを利用者と相談している。		
25	61	日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさず、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	好天気の際は、本人の気分や希望に応じ日光浴や併設の施設に散歩に出かけている。また、心身の活性につながるよう個別の買い物、行事に出かけている。		
(4) 安心と安全を支える支援					
26	66	鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	玄関、居室は原則鍵を掛けないで自由に入出りできる。冬の寒い時期、外に頻繁に出たがる入居者の居室には施錠する必要がある。職員の見守りと声がけの方法を徹底し、鍵のかける時間を短くする努力をしている。		

グループホームすめらぎ

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
27	71	<p>災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている</p>	マニュアルを作成し、防火訓練を実施している。		
(5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
28	77	<p>栄養摂取や水分確保の支援</p> <p>食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている</p>	栄養士作成の献立表を参考に調理し、栄養のバランスを配慮している。また、食事内容や残量や毎月の体重測定により食事量を見直し、職員で情報を共有している。		
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり					
(1) 居心地のよい環境づくり					
29	81	<p>居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	各フロア - にオ - プンキッチン、食堂、ホールがあり、食事の風景がわかり生活感がある。トイレ、浴室は広めで移動がスムーズにできる。光は自然採光で人に優しい。すべてバリアフリー - になっている。利用者の書道などの作品が飾られ生活の意識を高めている。		
30	83	<p>居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	居室はテレビや家具が持ち込めることができる。部屋は家族の写真や自分の作品を貼ることができ、利用者の居心地よい居室に配慮している。インコなどの鳥も飼うことができ生活スタイルに合わせた配慮がされている。		

は、重点項目。

WAMNETに公開する際には、本様式のほか、事業所から提出された自己評価票（様式1）を添付すること。